

第3回 新人助産師研修 報告

平成27年9月27日(日)少し暑いくらいの秋晴れの日、山口県看護協会にて第3回新人助産師研修・公開講座「母乳育児支援」が開催されました。

今回の研修では、山口県看護協会助産師職能委員会の力丸久実委員長に講師をしていただきました。13名の新人助産師と公開講座に9名の助産師・保健師・看護師が受講されました。毎回好評のこの研修、今回アンケートで100%の満足をしていただきました。

内容は、パワーポイントによる講義、授乳指導のロールプレイ、エモーショナルサポートを磨くためのおっぱい劇場とあつという間に時間が経ってしまう楽しく、そして実践的なものでした。



新人助産師の皆さんも、現場での経験も6ヶ月となり、日々の業務で不安や困難を感じていることも明確になってきているこの時期の研修。新人助産師の方から「具体的に学べ、今後に使えそう」「具体的な言葉かけ、手技などを学ぶことができたので早速、明日からやってみよう」と意欲的な声をもらいました。

公開講座参加者の方からも、「日々の自分のケアを振り返ることができた」「どうしたらよいか悩む時もある。母親が母乳育児を楽しんでもらえるように支えていきたいのでしっかり学び直したい」「訪問・相談・教育、すべての業務に活かそう」などの声をいただきました。

また、新人研修について「今後も新人教育のみならず一般公開してほしい」というご意見も頂きました。

新人もベテランも、お母さんのために赤ちゃんのために、新しい情報・知識・技術を吸収したいという思いが伝わってきました。

(文責 助産師職能委員 高杉敏子)